

I-O DATA グリーン調達基準書

Rev 10.3

2001年7月1日初版

2018年5月23日改定

株式会社アイ・オー・データ機器

グリーン調達基準書 改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容
Rev1.0	2001/07/01	初版制定 グリーン購入の開始
Rev2.0	2002/09/02	部分改訂 取引先の化学物質調査への対応の為、調査対象物質の追加
Rev3.0	2004/07/01	全面改訂 海外法規制・国内取引先への対応を強化する為、製品の化学物質含有・製造工程での使用に関する基準の設定 化学物質含有管理の可能な購入先からの優先購入基準の設定など
Rev4.0	2005/07/22	部分改訂 環境方針 2005年7月度版に変更
Rev5.0	2006/11/01	全面改訂 発行責任者の変更、購入先調査票及びその運用方法変更。日本語版のみ本基準書のタイトル変更 (Rev5.0 グリーン調達基準書。Rev4.0 以前 グリーン購入基準書)
Rev5.1	2007/09/05	部分改訂 発行責任者の変更、第4章「取説・保証書類」の採用基準を変更、付属資料「参考」に注意事項を追加、付属資料「別紙1～7」を改版
Rev6.0	2008/10/9	全面改訂 発行責任者に開発本部長を追加。JIG101A/JGPSSI tool v3.34 対応のため、調査対象化学物質レベル A に PCT 類を追加、カドミウムの閾値を 75ppm から 100ppm へ変更。第4章 包装材・印刷物に関する採用基準を見直し。別紙4～7「包装材・印刷物に関する自己宣言書」を改版。別紙8「製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書」を追加。
Rev7.0	2010/11/30	全面改訂 発行責任者変更 環境方針変更 【3】調査方法について 調査票に本基準書の関連書類追記 【4】調査内容に採用製品・部品に関して弊社から依頼があった際、関連する書類の提出を追記 【5】採用製品・部品の調査と要求事項 ③について、PFOS の規制に関する化審法の改正が 2009/11 月に施行見込みから 2010/4 月施行に変更
Rev8.0	2011/08/04	全面改訂 第3章有害化学物質の調査基準を国内外の法規制から JIG に変更。禁止物質・管理物質の用語定義追加。 別紙3「RoHS 対応自己宣言書」改版。 包装材・印刷物の採用基準変更（再生紙または森林認証紙の利用、環境に配慮した印刷インキについて、採用基準から推奨事項に変更）に伴い、別紙4「包装材・印刷物の採用基準に関する自己宣言書」を改版。
Rev9.0	2012/10/01	部分改訂 発行責任者、グリーン調達基準書に関する窓口の変更、 第3章 有害化学物質の調査基準の採用製品・部品の調査方法の標準を RoHS 対応自己宣言書に変更。また、JGPSSI が発展的解消になったため JGPSSI 様式削除。それに伴い付属資料の別紙番号採番しなおし。
Rev10.0	2013/10/01	部分改訂 環境方針改定。 発行責任者、グリーン調達基準書に関する窓口の変更。 第3章 JIG が国際規格 IEC62474 として発行したことを受け参照する管理基準を変更。 第4章 【3】採用基準から「2）有機ハロゲン化合物の使用禁止」を【4】推奨へ変更 別紙1「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版。 別紙2「製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書」改版 別紙3「RoHS 対応自己宣言書」改版。 別紙4「包装材・印刷物の採用基準に関する自己宣言書」改版。
Rev10.1	2014/05/08	部分改訂 別紙1：「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版。
Rev10.2	2016/09/07	部分改訂 グリーン調達基準書に関する窓口の変更（開発部 ⇒ 企画開発部）。 別紙1：「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版。 別紙3：「RoHS 自己宣言書」改版。
Rev10.3	2018/5/23	部分改訂 ・発行責任者の変更 ・第3章【6】提出書類及びデータ JAMP AIS 入力支援ツールの更新終了に伴い、chemSHERPA(作成支援)ツールに変更 ・化審法改正 (SCCP/PBDE 禁止) の為、別紙1：「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版 ・キガリ改正の為、別紙2：「製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書」改版 ・参考2：JAMP AIS 入力支援ツールから chemSHERPA(作成支援)ツールに変更

目次

はじめに	・・・p. 4
第1章. 環境方針	・・・p. 5
第2章. グリーン調達活動	・・・p. 6
第3章. 有害化学物質の調査基準	・・・p. 9
第4章. 包装材・印刷物に関する採用基準	・・・p. 12
付属資料	
参考1：新規購入先選定チェックシート又は購入先調査シートの例	・・・p. 14
別紙1：製品含有化学物質の使用／不使用宣言書	・・・p. 15
別紙2：製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書	・・・p. 16
別紙3：RoHS 自己宣言書	・・・p. 17
参考2：chemSHERPA(作成支援)ツール	・・・p. 18
別紙4：包装材の採用基準に関する自己宣言書	・・・p. 19

はじめに

株式会社アイ・オー・データ機器は地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、弊社環境保全活動の取組みの一環として 2001 年 7 月からお取引先様のご協力のもとグリーン調達を推進してまいりました。

近年、環境意識の高まりのもと環境関連法の制定や強化、企業の環境保全活動に対する社会的責任がますます強く求められるようになってきております。弊社でもこのような要求に応えて、当グリーン調達基準を適宜見直してまいりました。

弊社グリーン調達に当たりましては、お取引先様の環境保全活動の認証取得状況、実施状況、化学物質に関する管理状況、それらの活動に基づく使用禁止物質の不使用・非含有の保証体制などを確認・評価させて頂いております。特に欧州 RoHS 指令である鉛・カドミウムなどの 6 物質に加えてフタル酸エステル類(4 物質)についてはより一層混入のリスクを抑えるべくお取引先様での管理徹底、適切な情報提供をお願い致しております。

弊社は、より安全で環境にやさしい製品・部品の調達に努め、「事業活動と自然との調和共生」の方針の基、お客様に安心してご購入頂けるようにと考えております。お取引先様におかれましては、かけがえのない地球環境を次世代に引き継いでいくために今後とも弊社のグリーン調達にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018 年 5 月

株式会社アイ・オー・データ機器

生産購買部 部長 土田智巳

I-O DATA

【環境方針】

「事業活動と自然との調和共生」

アイ・オー・データ機器は、顧客の期待に応え社会に貢献することを企業理念とするとともに、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、事業活動や商品の様々なライフサイクルを通して環境負荷低減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて行動する。

【環境行動指針】

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める。
2. 環境関連法規制、業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む。
3. 社外の環境保護・保全活動・行事への協力・支援を通じ社会貢献に努める。
4. 環境目標を定め、これを見直しながら以下の活動を推進する。
 - (1) 商品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める。
 - (2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する。
 - (3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める。
 - (4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める。
 - (5) 環境に関する情報開示に努める。
5. 当環境方針は、全従業員及び当社の為に働く全ての人に周知し、また、社外にも公開する。

2017年11月

株式会社アイ・オー・データ機器

代表取締役社長 濱田尚則

第2章 グリーン調達活動

(株) アイ・オー・データ機器は、より安全で環境にやさしい製品・部品を優先的に調達するために、お取引先様の自主的な環境保全活動の実施状況、製品や工程における環境負荷物質の不使用・削減状況などを調査し、評価させて頂き、評価の高いお取引先様からの購入を優先することでグリーン調達活動を推進致します。

【1】グリーン調達基準書の適用範囲

本基準書は弊社製品と製品を構成する部品を直接及び弊社の子会社・関連会社を通じて購入させて頂くお取引様に適用致します。

製品に使用する梱包材や付属品の購入においても適用致しますが、製品輸送用の梱包材や設備什器関係及び文具等の事務用品の購入においては適用致しません。

【2】評価の高いお取引先様からの優先購入について

お取引様の環境保全活動の実施状況及び化学物質管理状況が、弊社のグリーン調達基準を満足していない場合は購入自体を再検討し、充分満足しているお取引様からの購入を優先させて頂きます。

【3】調査方法について

本基準書に関する調査は、下記のように実施します。

調査対象	目的	調査票
取引先	環境負荷の少ない企業からの購入を優先するため	<ul style="list-style-type: none"> 新規購入先選定チェックシート又は購入先調査シート 製品含有化学物質の使用／不使用宣言書（別紙1） 製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書（別紙2）
採用製品・部品	弊社基準に合致した製品・部品の採用を推進するため	<ul style="list-style-type: none"> RoHS 自己宣言書（別紙3） chemSHERPA（参考2） 包装材の採用基準に関する自己宣言書（別紙4）

なお、調査票は弊社ホームページに掲載しておりますのでご利用ください。

グリーン調達[お取引先様へ]

<http://www.iodata.jp/company/environment/procurement/index.htm>

【4】調査内容について

調査は下記の通りです。

(1) 環境保全活動の実施状況

- ① ISO14001 の認証を取得していますか。
取得であれば、取得日、未取得であれば予定の有無についてご回答下さい。
- ② その他環境に関する認証規格の有無、その内容及び今後の取得予定 (ISO14001 以外) についてご回答下さい。
- ③ 環境方針、目的・目標、活動状況などを記入して下さい。
- ④ 環境管理責任者の方の氏名、役職を記入して下さい。

(2) 化学物質管理の状況

- ① 弊社指定の使用禁止化学物質で禁止されている化学物質を含まないこと、使用管理化学物質の含有有無を宣言でき、その回答が正しいことを保証できますか。
保証できる場合は、別紙1『製品含有化学物質の使用／不使用宣言書』および別紙2『製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書』を提出して下さい。
- ② 採用製品・部品に対して、別紙3『RoHS 自己宣言書』を提出してください。また、顧客要求に応じ『chemSHERPA(作成支援)ツールで作成された shai ファイル若しくは shci ファイル』を依頼した場合は提出してください。

(3) 包装材に関する状況

- ① 有害物質に関する国内外の法規制および環境性能についての状況を確認するため、採用製品・部品に対して弊社より依頼した際、別紙4『包装材の採用基準に関する自己宣言書』を提出してください。

【5】機密保持

入手した内容は、グリーン調達関連以外の目的には利用いたしません。また弊社内でのみ使用し、外部に公表することはありません。

【6】グリーン調達基準書に関する窓口

- ・ 取引先評価関連 : 生産購買部
- ・ 製品・部品評価関連 : 企画開発部
- ・ 本基準書等制度全般 : 生産購買部

第3章 有害化学物質の調査基準

【1】目的

全ての採用製品・部品を対象として、国際規格「電気・電子業界及びその製品に関するマテリアルデklarレーション (IEC62474)」に基づいた化学物質の含有調査、評価を行うことにより効率の良い調査を行うことを目的とします。

【2】定義

・使用禁止化学物質

対象製品・部品への含有が禁止される物質。IEC62474 法規制対象の基準Rに選定される物質で国内の法規制にて禁止されている物質です。

・使用管理化学物質

対象製品・部品への含有を把握しておかなければならない物質。IEC62474 法規制対象の基準Rに選定される物質で国外の法規制にて禁止・制限されている物質です。

【3】調査対象化学物質と閾値レベル

対象化学物質は、IEC62474 で示された物質(群)に準拠しています。物質群に含まれる例示物質や用語・定義は、IEC62474 を参照してください。

《使用禁止化学物質》

No.	対象化学物質 ※	Substances *	報告対象 Reportable Application(s)	閾値レベル(報告レベル) Threshold Level (Reporting level)
1-1	アスベスト類(又は石綿)	Asbestos	すべて All	意図的添加 Intentionally added
1-2	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	Polychlorinated biphenyl	すべて All	意図的添加 Intentionally added
1-3	ポリ塩化ナフタレン(塩素数2以上のものに限る)	Polychlorinated naphthalenes (with 2 or more chlorine atoms)	すべて All	意図的添加 Intentionally added
1-4	ビス(トリブチルスズ)オキシド (TBTO)	Bis (tri-n-butyltin) oxide (TBTO)	すべて All	意図的添加、または製品の0.1重量%(1,000 ppm) Intentionally added or 0.1% by weight (1,000 ppm) of the product
1-5	2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノール	2-(2H-1,2,3-Benzotriazol-2-yl)-4,6-di-tert-butylphenol	すべて All	意図的添加 Intentionally added
1-6	ペルフルオロ(オクタン-1-スルホン酸) (別名PFOS)又はその塩	Perfluoro(octane-1-sulfonic acid) (Synonym: PFOS) or its salts	すべて All	意図的添加または材料中の0.1重量%(1,000ppm) Intentionally added or 0.1% by weight (1,000 ppm) in material
1-7	ヘキサブロモシクロドデカン (HBCDD)	Hexabromocyclododecane (HBCDD)	すべて All	意図的添加、または製品の0.1重量%(1,000 ppm) Intentionally added or 0.1% by weight (1,000 ppm) of the product
1-8	オゾン層破壊物質(モントリオール議定書対象物質)	Ozone-depleting substances (Substances cited by the Montreal Protocol)	すべて All	意図的添加 Intentionally added
1-9	放射性物質	Radioactive Substances	すべて All	意図的添加 Intentionally added
1-10	短鎖型塩化パラフィン(C10-13) (SCCP)	Short Chain Chlorinated Paraffins (C10-13)(SCCP)	すべて All	意図的添加 Intentionally added
1-11	デカブロモジフェニルエーテル(PBDE)	Polybrominated Diphenylethers (PBDEs)	すべて All	均質材料の0.1重量%(1,000 ppm) 0.1 mass% in homogenous material

《使用管理化学物質》

No.	対象化学物質 ※	Substances *	報告対象 Reportable Application(s)	閾値レベル(報告レベル) Threshold Level (Reporting level)
2-1	カドミウム/カドミウム化合物	Cadmium/cadmium compounds	電池と欧州RoHS指令(2011/65/EU)の規制除外用途を除くすべて。なお、欧州RoHS指令の適用除外に該当し、対象物質を含有しているものは報告対象としておりません。 All, except batteries and exempted uses for EU RoHS Directive (2011/65/EU). Those containing the substance Upon the EU RoHS Directive exemptions are not subject to reporting. 電池 Batteries	均質材料中のカドミウムの0.01 重量% (100 ppm) 0.01% by weight (100 ppm) of cadmium in homogeneous materials 電池中のカドミウムの0.0005 重量% (5 ppm) 0.0005% by weight (5 ppm) of cadmium in battery
2-2	鉛/鉛化合物	Lead/lead compounds	下記に示す対象以外と欧州RoHS指令(2011/65/EU)の規制除外用途を除くすべて。なお、欧州RoHS指令の適用除外に該当し、対象物質を含有しているものは報告対象としておりません。 All, except as noted below and exempted uses for EU Directive (2011/65/EU). Those containing the substance Upon the EU RoHS Directive exemptions are not subject to reporting. 主として12歳以下の子供向けの消費者製品 Consumer products designed or intended primarily for children 12 years of age or younger 玩具及び子供向け製品の塗料又は表面塗装 Paint and similar surface coatings of toys and other articles intended for use by children 熱硬化性樹脂または熱可塑性樹脂で被覆された電線・ケーブル又はコード Cables/cords with thermoset or thermoplastic coatings	均質材料中の鉛の0.1 重量% (1,000ppm) 0.1% by weight (1,000 ppm) of lead in homogeneous materials 子供用製品中の鉛の0.03 重量% (300ppm) 0.03% by weight (300 ppm) of lead in the children's product 表面塗装中の鉛の0.009 重量% (90ppm) 0.009% by weight (90 ppm) of lead in surface coating 表面塗装中の鉛の0.03 重量% (300ppm) 0.03% by weight (300 ppm) of lead in surface coating 電池中の鉛の0.004 重量% (40ppm) 0.004% by weight (40 ppm) of lead in battery
2-3	六価クロム化合物	Chromium VI compounds	欧州RoHS指令(2011/65/EU)の規制除外用途を除くすべて All, except exempted uses for EU RoHS Directive (2011/65/EU).	均質材料中の六価クロムの0.1 重量% (1,000 ppm) 0.1% by weight (1,000 ppm) of chromium (VI) in homogeneous materials
2-4	水銀/水銀化合物	Mercury/mercury compounds	電池と欧州RoHS指令(2011/65/EU)の規制除外用途を除くすべて。なお、欧州RoHS指令の適用除外に該当し、対象物質を含有しているものは報告対象としておりません。 All, except batteries and exempted uses for EU RoHS Directive (2011/65/EU). Those containing the substance Upon the EU RoHS Directive exemptions are not subject to reporting. 電池 Batteries	意図的添加または均質材料中の水銀の0.1 重量% (1,000 ppm) Intentionally added or 0.1% (1,000 ppm) of mercury in homogeneous material 電池中の水銀の0.0001 重量% (1ppm) 0.0001% by weight (1 ppm) of mercury in of the battery
2-5	ポリ臭化ビフェニル類 (PBB類)	Polybrominated biphenyls (PBBs)	すべて All	均質材料の0.1 重量% (1,000 ppm) 0.1% by weight (1,000 ppm) in homogeneous material
2-6	ポリ塩化ターフェニル類 (PCT類)	Polychlorinated Terphenyls (PCTs)	すべて All	材料の0.005 重量% (50ppm) 0.005% by weight (50 ppm) in material
2-7	一部の芳香族アミンを生成するアゾ染料・顔料	Certain azocolourants and azodyes in textile and leather applications only	繊維と皮革 Textiles and leather	仕上げ繊維物/皮革製品の0.003 重量% (30 ppm) 0.003% by weight (30 ppm) of the finished textile/leather product
2-8	三置換有機スズ化合物	Tri-substituted organostannic compounds	すべて All	意図的添加またはスズ元素として、材料中の0.1 重量% (1,000 ppm) Intentionally added or 0.1% by weight (1,000 ppm) of tin in a material
2-9	フッ素系温室効果ガス (PFC, SF6, HFC)	Fluorinated greenhouse gases (PFC, SF6, HFC)	すべて All	意図的添加 Intentionally added
2-10	過塩素酸塩	Perchlorates	すべて All	製品の0.0000006 重量% (0.006ppm) 0.0000006% by weight (0.006 ppm) of the product
2-11	ニッケル	Nickel	長時間皮膚に接する場合はすべて All, where prolonged skin contact is expected	意図的添加 Intentionally added
2-12	フタル酸エステル類グループ1 (BBP/DBP/DEHP)	Selected Phthalates Group 1 (BBP, DBP, DEHP)	玩具または育児用品 Children's toy or child care article	可塑化した材料の0.1 重量% (1,000ppm) 0.1% by weight (1,000 ppm) in plasticized material
2-13	フタル酸エステル類グループ2 (DIDP/DINP/DNOP)	Selected Phthalates Group 2 (DIDP, DINP, DNOP)	子供の口に入る玩具または育児用品 Children's toy or child care article that can be placed in a child's mouth	可塑化した材料の0.1 重量% (1,000ppm) 0.1% by weight (1,000 ppm) in plasticized material
2-14	ジメチル fumarate (フマル酸ジメチル)	Dimethyl fumarate	すべて All	材料中の0.00001 重量% (0.1 ppm) 0.00001% by weight (0.1 ppm) in a material
2-15	ホルムアルデヒド	Formaldehyde	複合木材(合板、パーティクルボード、中密度ファイバーボード)製品または部品 Composite wood (plywood, particle board, medium density fiberboard) products or components	意図的添加 Intentionally added 繊維製品の0.0075 重量% (75 ppm) 0.0075% by weight (75 ppm) of textile product
2-16	ジブチルスズ化合物 (DBT)	Dibutyltin (DBT) compounds	すべて All	スズ元素として、材料中の0.1 重量% (1,000 ppm) 0.1% by weight (1,000 ppm) of tin in a material
2-17	ジブチルスズ化合物 (DOT)	Diocetyl (DOT) compounds	(a) 皮膚と接触することを意図する繊維および皮革製品、 (b) 育児用品、 (c) 2 液性室温硬化モールドイングキット (RTV-2 シーラントモールドイングキット) (a) textile and leather articles intended to come into contact with the skin, (b) childcare articles (c) two-component room temperature vulcanisation moulding kits (RTV-2 moulding kits)	スズ元素として、材料中の0.1 重量% (1,000 ppm) 0.1% by weight (1,000 ppm) of tin in a material
2-18	ポリ塩化ナフタレン(塩素数1以上のものに限る)	Polychlorinated naphthalenes (with 1 or more chlorine atoms)	すべて All	意図的添加 Intentionally added
2-19	ベンゼンアミン、N-フェニル、スチレンおよび2,4,4-トリメチルペンテンとの反応生成物 (BNST)	Benzenamine, N-phenyl-, Reaction Products with Styrene and 2,4,4-Trimethylpentene (BNST)	すべて All	なし No threshold
2-20	一部の多環芳香族炭化水素 (PAHs)	Polycyclic-aromatic hydrocarbons (PAHs)	人の皮膚又は口腔内に直接、長時間又は短期間で繰返し接触するゴム又はプラスチック部品 Rubber or plastic parts that come into direct, prolonged or repetitive skin or oral cavity contact except those for toys or childcare articles	部品中の0.0001 重量% (1ppm) 0.0001 mass% of the product

【4】採用基準

製品・部品に対して、以下を採用基準とします。

- ・使用禁止化学物質を含有していないこと
- ・製造工程にオゾン層破壊物質を使用していないこと。

【5】推奨事項

採用基準ではありませんが、製品・部品の環境負荷低減や弊社お取引様が要求・制限しているため、以下の項目へのご協力をお願いします。

- ・使用管理化学物質を含有しないこと。
- ・プラスチック材料はリサイクル可能である事を示す為に ISO 1043/11469 (JIS K6899/K6999) に従い表示を行って下さい。質量 25 g 未満の部品については除外しますが、表示可能面積(200mm²以上)が有れば可能な限り表示を行って下さい。但し、ケーブル、ケーブルアセンブリについては除外します。
- ・可能な限りポリ塩化ビニル (PVC) の使用を回避したいと考えています。代替可能な場合は、代替物をご提案戴きますようお願い致します。

【6】提出書類およびデータ

- ・製品含有化学物質の使用／不使用宣言書 (別紙 1)
- ・製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書 (別紙 2)
- ・RoHS 自己宣言書 (別紙 3)
- ・顧客要求に応じ、chemSHERPA(作成支援)ツールで作成された shai ファイル又は shci ファイル

参考

- ・chemSHERPA
<https://chemsherpa.net/chemSHERPA/>

第4章 包装材・印刷物に関する採用基準

【1】目的

包装材や印刷物について採用基準を明確にすることにより環境性能（3R設計、有害物質の非含有など）を向上することを目的とします。

また、国内外の法令（容器包装リサイクル法（国内）、包装材規制（欧州、米国）など）を基準に含みます。

【2】包装材・印刷物の定義

・包装材

包装材とは、製品本体や付属品を包装するものであり、以下の1)～5)を指します。

1) 個装箱・・・製品本体、付属品全てを収納する箱

製品本体が見えるブリスタパックの片面や袋に差し込むコートボール

2) 内装箱・・・個装箱内に製品本体や付属品を個別に収納する箱

3) 仕切り・・・個装箱内に製品本体や付属品のスペースを分割する板状の包装材

4) 包装材用プラスチック類

・・・製品本体を衝撃などから破損することを防ぐためのプラスチック製の緩衝材（エアキャップ、発泡スチロールなど）や、付属品を収納する袋、製品本体が見えるブリスタパック

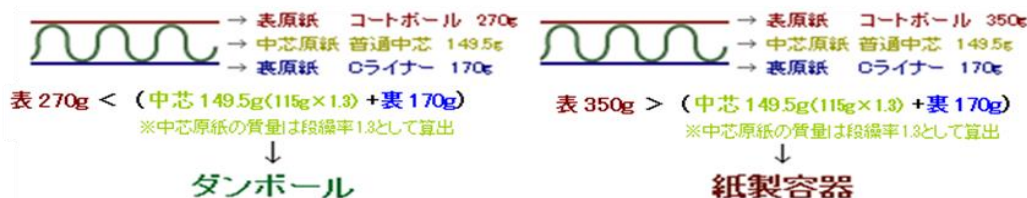
5) シール類・・・包装材に貼るシール

製品本体および付属品に貼るシール、付属品の場合は除く

・紙またはコートボールとダンボールの複合材※1

容器包装リサイクル法では、紙とプラスチックの包装材について材質表示が義務付けられています。紙またはコートボール単体であれば、材質は「紙」と表示します。紙またはコートボールとダンボールの複合材の場合は、紙またはコートボール部分の質量比で、ダンボールの質量の比率が50%を超える場合は「ダンボール」、50%以下の場合は「紙」と表示します。

※1 「複合材(ダンボール+紙・コートボール)の断面図



・印刷物

印刷物とは 1)～5)の包装材及び取扱説明書、差し込みなどの紙に文字や絵、写真などの画像を印刷したものを指します。

【3】採用基準

包装材に対して、以下を採用基準とします。

- 1)鉛／カドミウム／六価クロム／水銀の含有量が 100ppm 以下であること。
- 2)ポリ塩化ビニル（PVC）の使用禁止（塗料、インク用途は除く）
- 3)包装材が紙またはコートボールとダンボールの複合材の場合、ダンボールの質量が 50%を超えること。
- 4)1)から 3)の採用基準について、『包装材の採用基準に関する自己宣言書（別紙4）』にて回答すること。

【4】推奨事項

採用基準ではありませんが、包装材、印刷物の環境負荷低減のため、以下の項目を推奨します。

- ・再生紙、森林認証紙等環境に配慮した紙の採用
- ・植物性インク、水性インク等環境に配慮したインクの採用
- ・有機ハロゲン化合物の使用禁止

【5】提出書類

- ・包装材の採用基準に関する自己宣言書（別紙4）

参考 1) 新規購入先選定チェックシート又は購入先調査シートの例

新規購入先選定チェックシートからの抜粋

<p style="margin: 0;">品質保証関連</p> <p style="margin: 0;">1) 品番SO9001 <small>取得(取得日: 年 月)、未取得 *予定有り(予定日: 年 月)</small></p> <p style="margin: 0;">2) 品質目標、方針を記入下さい。 _____ _____ _____ _____ _____</p> <p style="margin: 0;">3) 品質保証体制 <small>有(詳細④を記入して下さい)、無</small></p> <p style="margin: 0;">4) 品質保証部門、技術、製造部門から独立していますか。 <small>はい、いいえ</small></p> <p style="margin: 0;">5) 御社の品質管理責任者 氏名 _____ 役職名 _____</p> <p style="margin: 0;">6) 品質保証に関する認証規格の有無、その内容及び今後の取得予定 (ISO9001を除く) _____ _____ _____ _____</p>
<p style="margin: 0;">環境保全関連</p> <p style="margin: 0;">1) 環境に関する認証規格の有無、その内容及び今後の取得予定 <small>有 認証規格名: _____ 無 取得予定規格名: _____</small> <small>取得予定日: 年 月</small></p> <p style="margin: 0;">2) 環境方針、目的・目標・活動状況を記入下さい。(御社固有でも可) _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____</p> <p style="margin: 0;">3) 御社の環境管理責任者 氏名 _____ 役職名 _____</p> <p style="margin: 0;">4) その他 <small>・法的要件などで禁止されている化学物質を含まないことを保証できますか。</small> <small>はい、いいえ</small> <small>・保証できる場合(詳細④「使用禁止(化学物質)の不使用証明書」を提出下さい)。</small></p>

(株)アイ・オー・データ機器

別紙 2) 製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書

(株)アイ・オー・データ機器 行き
To I-O DATA DEVICE, INC.

I-O DATA
作成日: 年 月 日
Issued by (yyyy/mm/dd) / /

製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書
Certification for disuse of Ozone depleting substances in Manufacturing Processes

当社は、関係するすべての製造工程で以下の使用禁止化学物質を使用していないことを証明します。
 なお、製造工程とは最終製品の製造のために直接使用されるものを対象とします。
 We hereby certify that disuse of the below prohibited chemical substances in the our all related manufacturer.
 Substances such as detergents directly used in the product manufacturing process are applicable.

会社名	Company name	
責任部署及び役職	Division Name and Job title	
責任者	Responsible person	印 Signature
連絡先(所在地)	Contact information (Address)	
	(TEL)	
	(eMail)	

使用禁止化学物質
Prohibited Chemical Substances)

対象物質	Substances	引用法 Regulation
オゾン層破壊物質 (モントリオール議定書対象物質) ・CFCs ・HCFCs ・臭化メチル(ブロモメタン) ・ハロン ・HBFCs ・四塩化炭素(テトラクロロメタン) ・1,1,1-トリクロロエタン (メチルクロロホルム) ・HFC(ハイドロフルオロカーボン)	Ozone-depleting substances (Substances cited by the Montreal Protocol) - CFCs - HCFCs - Methyl Bromide (Bromomethane) - Halons - HBFCs - Carbon Tetrachloride (Tetrachloromethane) - 1,1,1- Trichloroethane (Methylchloroform) - HFC	オゾン層保護法 (Japan) Law Concerning the Protection of the Ozone Layer through the Control of Specified Substances and other Measures モントリオール議定書 EU指令76/769/EEC (+94/60/EEC, +97/64/EEC) Montreal Protocol EU Directive 76/769/EEC (+94/60/EEC, +97/64/EEC)

HFC、HCFCsを除外したい場合、「HFC,HCFCsを除外」を選択してください。
 Please select "Except HFC and HCFCs", if HFC and HCFCs is an exception.

HFC、HCFCsを含めず、Include HFC and HCFCs.
 HFC、HCFCsを除外します、Except HFC and HCFCs.

確認欄	Rank B
-----	-----------

form ED107A-21-04

別紙3) RoHS自己宣言書

作成日: 年 月 日
Issued by (yyyy/mm/dd)

(株)アイ・オー・データ機器 行き
Attn: I-O DATA DEVICE, INC.

RoHS自己宣言書 Declaration of RoHS

当社は欧州RoHS指令(2011/65/EU)の制限物質を含有していないことを宣言します。ただし欧州RoHS指令における適用除外用途の場合及び最大濃度未満の場合を除きます。また将来の設計変更等にも欧州RoHS指令に対応することを約束します。
We hereby declare that restricted substances of EU RoHS Directive(2011/65/EU) are not contained, except for the cases of the exempted application and/or less than maximum concentration values of EU RoHS Directive. And future design changes to ensure that it conforms to EU RoHS directive.

会社名 Company name _____
 責任部署及び役職 Division Name and Job title _____
 責任者 Responsible person _____ 印 or Signature _____
 連絡先(所在地) Contact information (Address) _____
 (TEL) _____
 (eMail) _____

対象部品 (Scope)
 I-O DATAの品目コード
 Part Number for I-O DATA(P/N) _____
 部品名
 Part Name(Description) _____

対象物質 (Substances)

物質名 Substance	最大許容濃度 (閾値) Max. Tolerance concentration (threshold)	閾値以上の含有の有無 Inclusion above the threshold		←「有り」の場合、使用部位と該当する除外用途コードを記入ください(※) ←If any substances are included, please describe application area, exempted use code.(※)
		無し Not Included	有り <規制除外用途> Included <Exempted use>	
カドミウム及びその化合物 Cadmium and Cadmium Compounds	0.01wt% (100ppm)	○	○	
六価クロム化合物 Hexavalent Chromium Compounds	0.1wt% (1000ppm)	○	○	
鉛及びその化合物 Lead and Lead Compounds	0.1wt% (1000ppm)	○	○	
水銀及びその化合物 Mercury and Mercury Compounds	0.1wt% (1000ppm)	○	○	
ポリ臭化ビフェニール類 (PBBs) Polybrominated Biphenyls (PBBs)	0.1wt% (1000ppm)	●	○	
ポリ臭化ジフェニールエーテル類 (PBDEs) Polybrominated Diphenyl ethers (PBDEs)	0.1wt% (1000ppm)	●	○	
		無し Not Included	有り Included	←「有り」の場合、使用部位と全廃予定時期を記入ください ←If any substances are included, please describe application area, the planned total abolition (replacement) date.
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP) Bis(2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)	0.1wt% (1000ppm)	○	○	
フタル酸ブチルベンジル (BBP) Butyl benzyl phthalate (BBP)	0.1wt% (1000ppm)	○	○	
フタル酸ジブチル (DBP) Dibutyl phthalate (DBP)	0.1wt% (1000ppm)	○	○	
フタル酸ジイソブチル (DIBP) Diisobutyl phthalate (DIBP)	0.1wt% (1000ppm)	○	○	

※ [Exempted use code] シート参照 記入例: コンデンサ/7(c)-1
Please refer to the sheet "Exempted use code". Example: Capacitor/7(c)-1

補足 (Note)
 欧州RoHS指令に則り、適用除外・閾値・含有/非含有を判断してください。参考までにケーブルの部品の構成単位となる事例を紹介します。
Judgement of exempted use, threshold of environmental substances, content/not content shall be made by EU RoHS directive.
Refer the below diagram.

図の(1)~(4)それぞれを分母とし対象物質の含有を判断すること
Judgement must be based on homogeneous material like from (1) to (4).

(参考)アイ・オー・データ機器の「グリーン調達基準書」掲載のホームページアドレス
For reference, the following is home address for "I-O DATA DEVICE, INC. Green Procurement Standards" at WEB site.
<http://www.iodata.jp/company/environment/procurement/index.htm>

確認欄	Rank	対象物質 Substances
	N/A	未入力あり Not entered

form ED107A-14-09d

参考 2) chemSHERPA-AI (作成支援) ツール <イメージ>

回答は chemSHERPA-AI (作成支援) ツールにて作成した shai ファイルにてお願いします。

The screenshot displays the chemSHERPA-AI software interface, which is used for creating and managing product data. It is divided into several main sections:

- 基本情報画面 (Basic Information Screen):** Contains fields for '発行者・承認者情報' (Issuer/Approver Information) and '依頼者情報' (Requester Information). The '依頼者情報' section includes a table for '項目' (Item) with columns for '英語' (English) and '日本語' (Japanese).
- 製品・部品情報 (Product/Component Information):** Features a table for '製品情報' (Product Information) with columns for '製品名' (Product Name), '製品番号' (Product Number), 'メーカー名' (Manufacturer Name), '質量' (Mass), '質量単位' (Mass Unit), 'シリーズ名' (Series Name), and '報告単位' (Reporting Unit). A red circle highlights the '成分情報' (Component Information) button.
- 成分情報画面 (Component Information Screen):** Shows a detailed table of components. The table has columns for '階層' (Hierarchy), '名称' (Name), '数量' (Quantity), '用途' (Use), '分類記号' (Classification Code), '名称' (Name), '質量' (Mass), '単位' (Unit), and '規格' (Standard). A red circle highlights the '選法判断情報' (Selection Judgment Information) button.
- 選法判断情報画面 (Selection Judgment Information Screen):** Displays a table for '選法判断情報' (Selection Judgment Information) with columns for '対象物質' (Target Substance), '判定対象' (Judgment Target), 'ID', '参照法規' (Reference Regulation), and '種別' (Category). A red circle highlights the '選法判断情報' button.

別紙4) 包装材の採用基準に関する自己宣言書

(株)アイ・オー・データ機器 行き
To I-O DATA DEVICE, INC.

I-O DATA
作成日: 年 月 日
Issued by (yyyy/mm/dd) / /

包装材の採用基準に関する自己宣言書
Declaration for Standards Concerning Adoption of Packaging Materials

当社は包装材に関して最新の「I-O DATAグリーン調達基準書」を遵守し、株式会社アイ・オー・データ機器(子会社・関連会社を含む)に納入することを宣言します。

Our company declares that we will deliver packaging materials to I-O DATA Device, Inc. (including its subsidiaries and affiliates), in conformance with the latest I-O DATA Green Procurement Standards.

会社名 責任部署及び役職 責任者 連絡先(所在地)	Company: Department Responsible and Job Title: Person Responsible: Contact Address: (TEL) (eMail)	印 or Signature
------------------------------------	--	----------------

対象品目 (IODATA型番) Product (I-O DATA Model No.) 対象品目は、I-O DATA にて記入すること	
--	--

1) 要求事項 Requirements

基準項目 Standards Category	要求事項 Requirements 指定素材は、I-O DATA にて記入すること	回答 Response
ギフト箱の素材 Materials for Gift boxes	<p>指定素材は、I-O DATA にて記入すること</p> <p>指定素材は指定した素材であること Material to be the below raw material for Gift boxes</p> <p>指定素材: Raw Material: <input type="checkbox"/> (1) ダンボール / corrugated cardboard <input type="checkbox"/> (2) 紙またはコートボール / paper/coated cardboard <input type="checkbox"/> (3) 複合材 ※1 / composite material #1</p> <p><ギフト箱の素材が③複合材の場合> 1. ダンボールの質量が50%を超えること(質量:ダンボール>紙・コートボール) (If materials for Gift boxes are (3)composite material) 1. Over 50% corrugated cardboard content by weight. (corrugated cardboard exceeds paper/coated cardboard content by weight)</p>	<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> 50%を超える / over 50% <input type="radio"/> 50%以下 / 50% or less
内装箱の素材 Materials for inner packagings	<p>指定素材は指定した素材であること Material to be the below raw material for inner packaging</p> <p>指定素材: Raw Material: <input type="checkbox"/> (1) ダンボール / corrugated cardboard <input type="checkbox"/> (2) 紙またはコートボール / paper/coated cardboard <input type="checkbox"/> (3) 複合材 ※1 / composite material #1</p> <p><内装箱の素材が③複合材の場合> 1. ダンボールの質量が50%を超えること(質量:ダンボール>紙・コートボール) (If materials for inner packagings are (3)composite material) 1. Over 50% corrugated cardboard content by weight. (corrugated cardboard exceeds paper/coated cardboard content by weight)</p>	<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> 50%を超える / over 50% <input type="radio"/> 50%以下 / 50% or less
仕切りの素材 Materials for dividers	<p>指定素材は指定した素材であること Material to be the below raw material for dividers</p> <p>指定素材: Raw Material: <input type="checkbox"/> (1) ダンボール / corrugated cardboard <input type="checkbox"/> (2) 紙またはコートボール / paper/coated cardboard <input type="checkbox"/> (3) 複合材 ※1 / composite material #1</p> <p><仕切りの素材が③複合材の場合> 1. ダンボールの質量が50%を超えること(質量:ダンボール>紙・コートボール) (If materials for dividers are (3)composite material) 1. Over 50% corrugated cardboard content by weight. (corrugated cardboard exceeds paper/coated cardboard content by weight)</p>	<input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No <input type="radio"/> 50%を超える / over 50% <input type="radio"/> 50%以下 / 50% or less

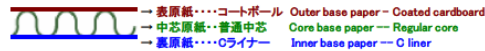
2) 確認事項 Check items

包装材(個装箱、内装箱、仕切り、包装材用プラスチック類、シール類)※集合梱包箱および製品本体に貼るシールは除く

基準項目 Standards Category	確認事項 Check Items	回答 Response
有害物質の含有 Hazardous substance content	鉛/カドミウム/六価クロム/水銀の合計が100ppm以下 Combined lead, cadmium, hexavalent chromium and mercury content is 100 ppm or less	<input type="radio"/> はい / 100ppm or less <input type="radio"/> いいえ / over 100ppm
ポリ塩化ビニル(PVC) ※塗料、インク用途は除く Polyvinyl chloride (PVC) ※Excluding for paint and ink applications	使用していません Don't use.	<input type="radio"/> はい / No Use <input type="radio"/> いいえ / Use
その他確認事項 Other things to check		回答 Response

※1 「紙またはコートボールとダンボールの複合材」の断面図

*1 Cross-section of composite material (paper/coated cardboard and corrugated cardboard):



事例1: ダンボールの質量が50%を超える

表原紙 270g < (中芯原紙 149.5g (115g × 1.3) + 裏原紙 170g)

Example 1: Over 50% corrugated cardboard content by weight.

Outer base paper 270g < (Core base paper 149.5g (115g × 1.3) + Inner base paper 170g)

*Take up ratio for core base paper: 1.3, basis weight: 115g

↓
ダンボール

事例2: ダンボールの質量が50%以下

表原紙 350g > (中芯原紙 149.5g (115g × 1.3) + 裏原紙 170g)

Example 2: 50% or less by weight of corrugated cardboard

Outer base paper 350g > (Core base paper 149.5g (115g × 1.3) + Inner base paper 170g)

*Take up ratio for core base paper: 1.3, basis weight: 115g

↓
紙製容器

確認欄 包装材 Packaging materials	Rank
--------------------------------	------

ED107A-23-04

株式会社 アイ・オー・データ機器

www.iodata.jp